

マレーシア訪問の報告（報告者：森野亜弓）

2014年2月17日・18日に、マレーシアの首都クアラルンプールにあるマレーシア国民大学を訪問しました。マレーシアへは当教室の宮松先生と森野の他、服部副学長、相浦先生、遠山先生、柳沢先生と一緒に訪問しました。

服部副学長がご挨拶され、博士課程教育リーディングプログラム(オンリーワン型)に採択された「アジア非感染性疾患(NCD)超克プロジェクト」について宮松先生により説明されました。

また、本学の修士課程での研究を紹介として、森野が修士課程で取り組んだ研究課題「Association of Early Hospital Arrival with Functional Outcome at Discharge in Ischemic Stroke」について発表しました。

マレーシアの皆さんはリーディングプログラムに関心を持たれ、積極的な質問もありました。



宮松先生よりリーディングプログラムの説明



森野より修士課程の研究の紹介



記念撮影

また、UMBI（Medical Molecular Biology Institute）や看護学科との交流も行いました。

UMBIは2003年に設立された医学分子生物学研究所です。きれいな施設であり、研究設備が整っていました。マレーシアを代表する大規模コホートプロジェクトが行われているとのことでした。

看護学科の教員と大学院生との交流ではたくさんの意見交換ができ、マレーシアの皆さんの研究に対する熱意や意欲的な姿勢に刺激を受けました。国内にとどまらず、世界に向けて研究成果を発信していくことの重要性を改めて認識する機会となりました。



UMBIの施設をご案内していただきました



看護学科の教員・大学院生とのミーティング